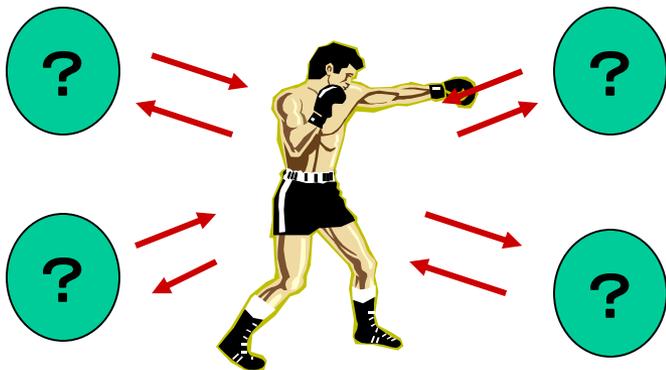
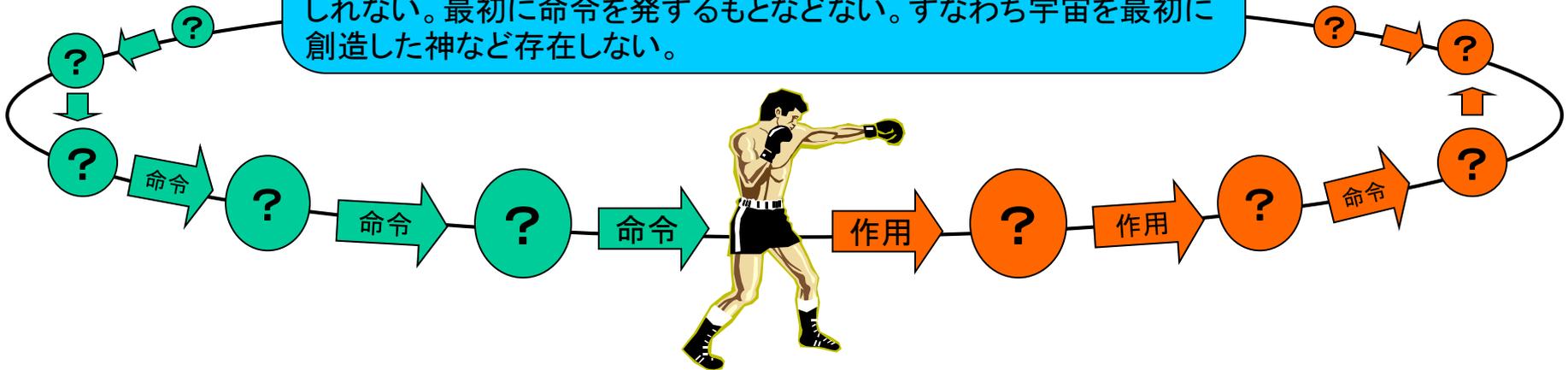


人間の行動における命令と作用

人間の行動は、その意識に先立ち無意識によって行動している。従って極端な話、あなた（意識）が眠っていようが、夢を見ていようが（もちろん身体は眠っていない）、あなたはちゃんと車を運転できるし、赤信号でブレーキを踏み、信号が変わると同時にアクセルを踏む。あなたの意識に心配をかけることなく、正確に動作を行う。

人間の行動に先だって命令する何かが有る。そしてその何かにも命令する何かがある。それはどこまでも続く。そして人間が何かに作用する。その作用を受けてまた別の何かに作用する。その作用も永遠に続く。めぐりめぐって自分が作用したことに、自分が命令されるかもしれない。最初に命令を発するもとなどない。すなわち宇宙を最初に創造した神など存在しない。



自分に作用するものは一つとは限らない。複数存在する。さらに自分の作用も複数の存在に及ぶ。そして作用したもののから作用を受けることもある。作用されたものにも作用する。そこには存在同士の間の関係しかない。すべては平等である。このような関係性を仏教では「縁起」と呼ぶ。